

アンケート調査結果の概要報告

1. アンケート調査の概要

各アンケート調査の実施概要は以下のとおりである。

	市民	来訪者	特定世代 (子育て・高齢者)	障害者
対象	16 歳以上の調布市内在住者 ・対象者は無作為抽出 ・同一世帯 1 票を抽出	一都三県の在住者 ・WEB アンケートモニター ・公共交通で調布市に 来訪したことがある方	子育て世代向け施設や 高齢者関係団体等を通 じて配布 ※新型コロナウイルス感染拡 大により、施設利用ができ る代替方法にて実施	調布市バリアフリー基 本構想策定に係る調査 業務のアンケート調査 結果から障害者の意見 を整理し把握
方法	郵送配布・郵送回収	WEB アンケート調査	施設等に回収箱を設置	郵送配布・郵送回収 ※一部 WEB アンケート・聞き 取り調査も含む
回収 票数	1,514/3,000 部	500 票	322/554 票	153/387 票
時期	令和 3 年 3 月 26 日～ 4 月 15 日 期限 4 月 26 日 回収にて集計	令和 3 年 4 月 23 日～ 4 月 26 日	令和 3 年 5 月 10 日～ 6 月 10 日	令和 2 年 12 月 7 日～ 令和 3 年 1 月 8 日 ※Web アンケートは 令和 3 年 1 月 20 日まで 実施

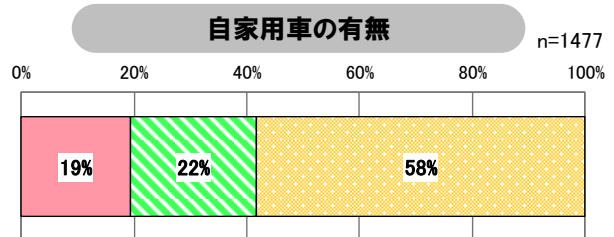
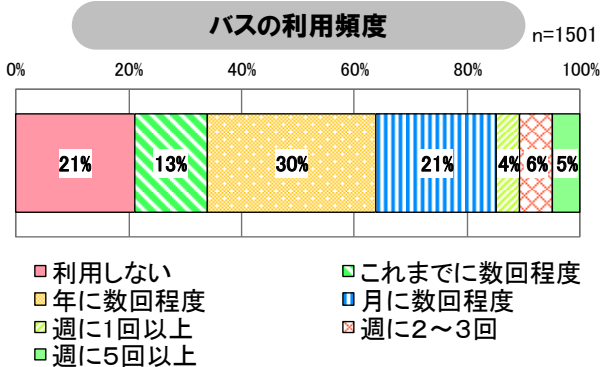
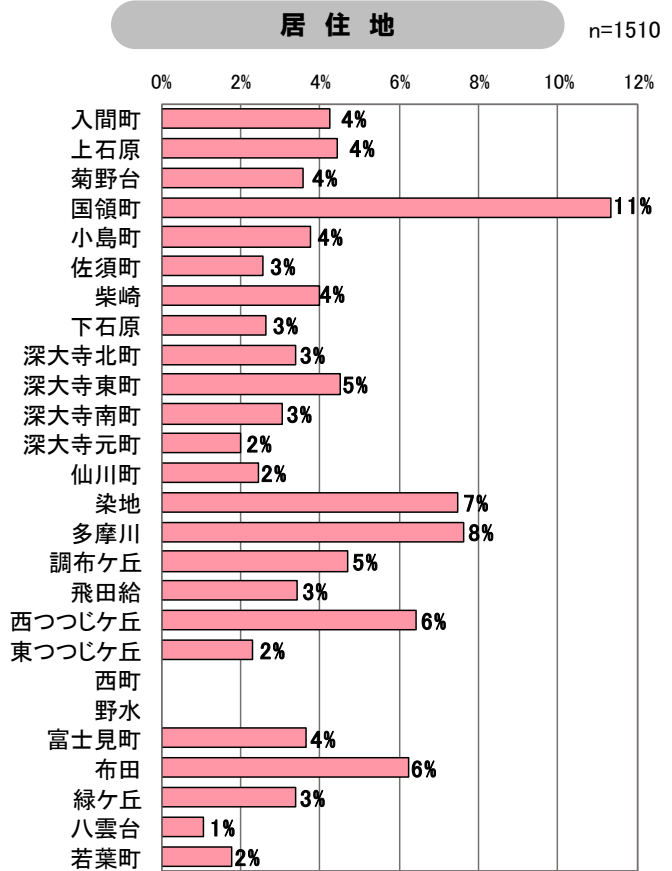
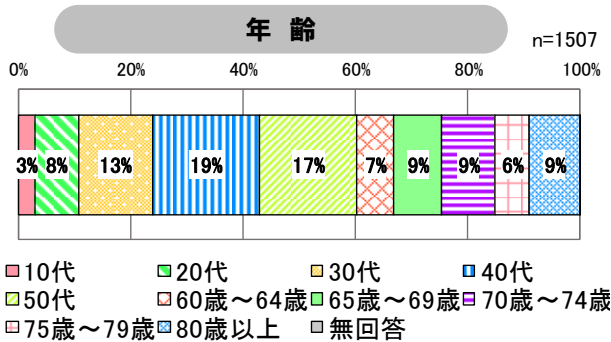
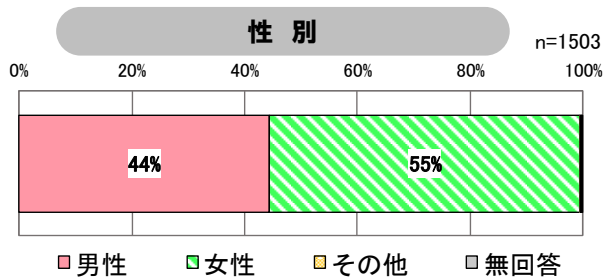
次ページ以降にアンケート調査結果の概要を示す。

なお、結果の詳細は参考資料 1 に示す。

2. 市民アンケート調査

①回答者の属性

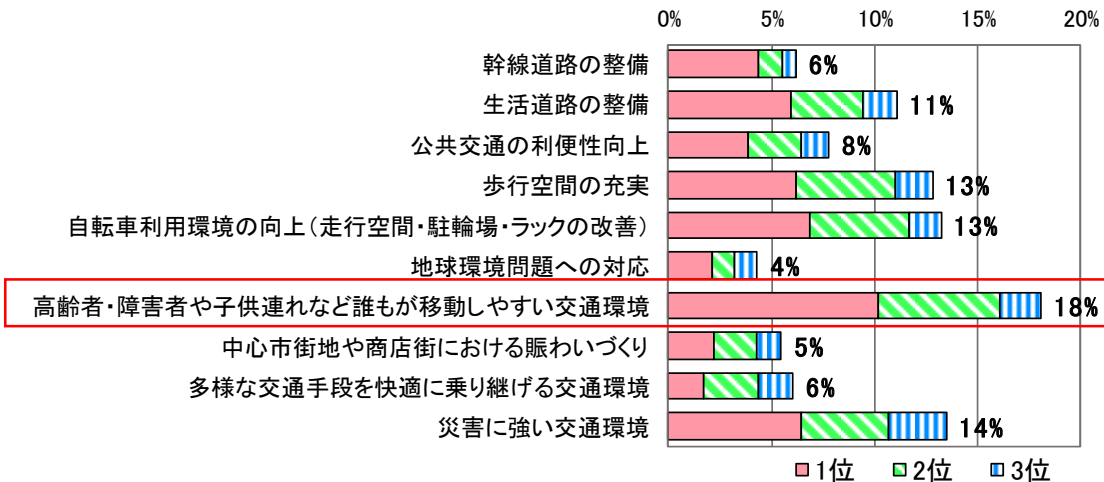
- ・ 性別は「男性」44%、「女性」55%、年齢は「40代」が19%と最も多く次いで「50代」が17%であるが、どの年代からも回答をいただいている。
- ・ 居住地では「国領町」の割合が高いが、その他の地域も5%程度ずつの回答がある。
- ・ 路線バス・ミニバスの利用頻度は「利用しない」が21%、「年に数回程度」まで合わせると60%以上となる。週に1回以上利用している方の割合は20%以下である。
- ・ 車の利用状況は「車は無い、またはあっても利用しない」割合が58%である。



②交通政策に対する優先度

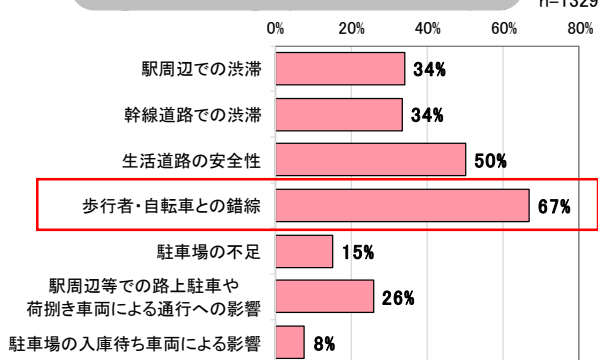
- ・ 「高齢者・障害者や子供連れなど誰もが移動しやすい交通環境」を多くが望んでいる。
- ・ 鉄道駅等での施策と比較して、歩行環境及び自転車走行環境の確保が特に重要とされている。
- ・ 自由意見をみても、歩道の改善や自転車走行環境の確保、自転車利用者のマナー改善等を求める意見が多い。

重要と考える施策

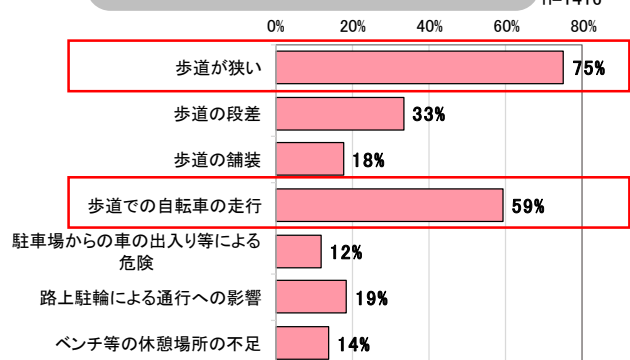


※1位：3点 2位：2点 3位：1点と得点を付加・総得点数に対する割合

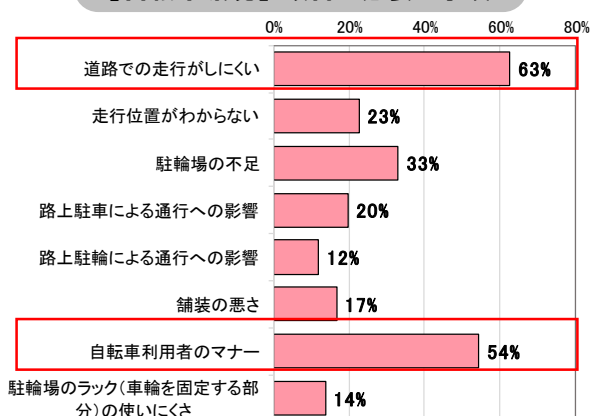
【自動車交通】改善が必要な事項



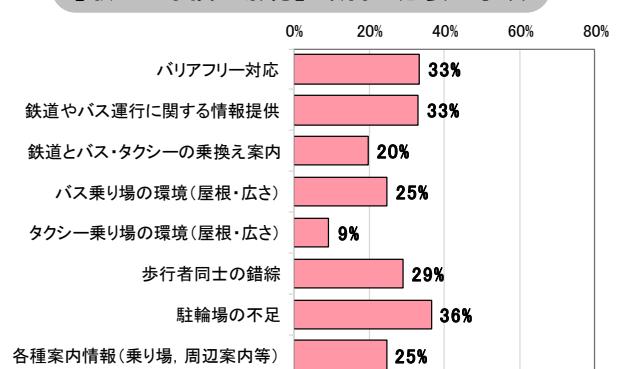
【歩行環境】改善が必要な事項



【自転車環境】改善が必要な事項



【駅での乗換え環境】改善が必要な事項



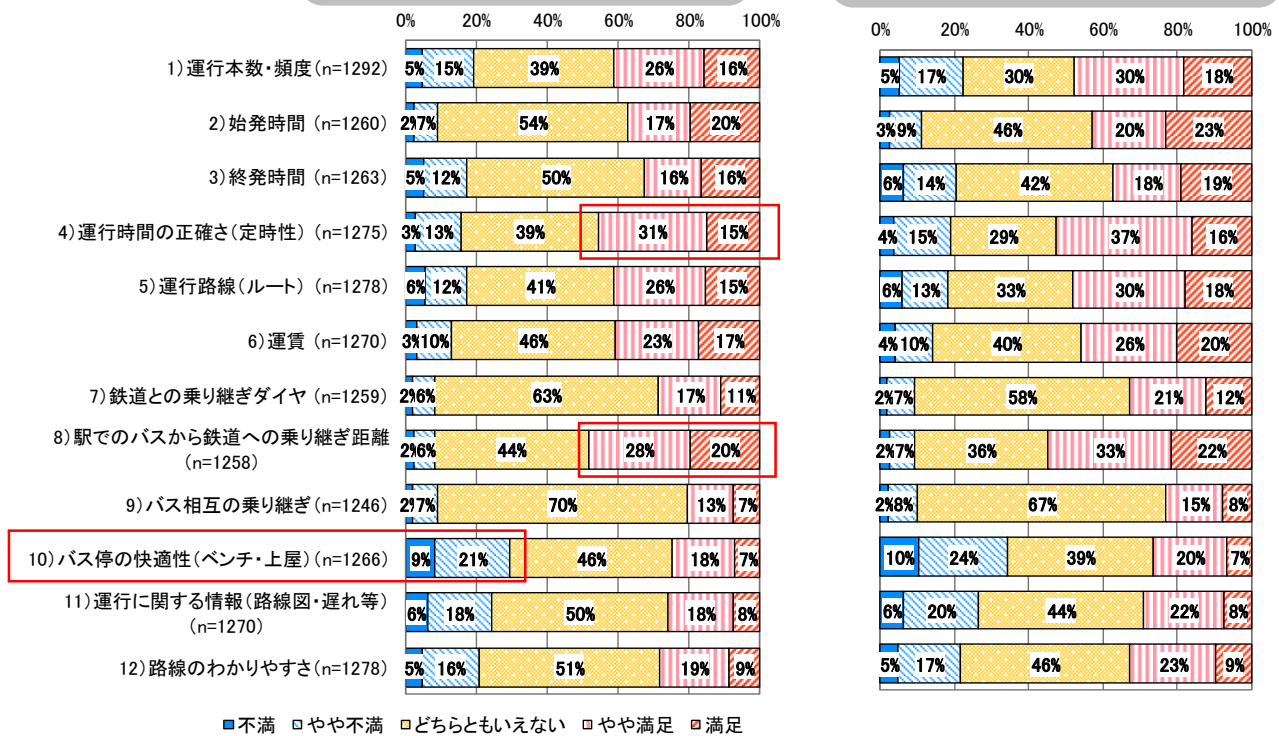
③バス交通に関する意見

【路線バス】

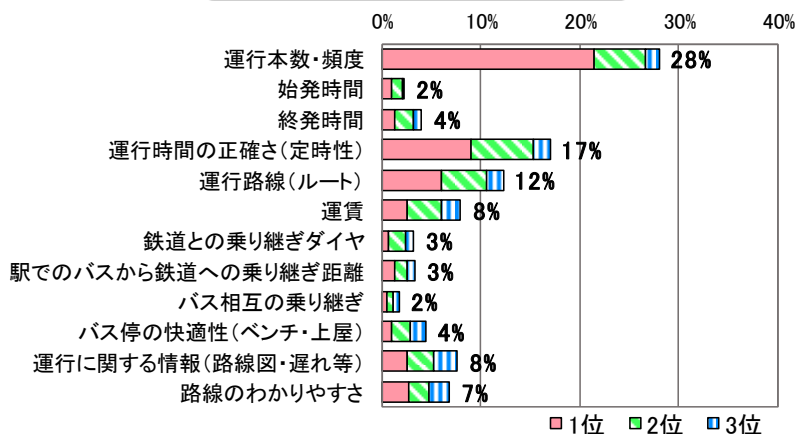
- ・ 路線バスの各運行仕様に対する満足度をみると、不満が高い事項は少なく、最も不満が高いのは「10) バス停の快適性 (ベンチ・上屋)」で 30%ある。乗継の距離や定時性に関しては満足度が高い。
- ・ 年数回以上バスを利用している人のみでみても、全体の傾向に大きな違いはないが、各項目の満足度・不満度は全体よりも高い傾向にある。
- ・ 地域ごとでの課題をみると、以下のような状況がみられる。
 - 仙川ゾーン：駅とバス停との距離に対する不満度が高い
 - 深大寺ゾーン：定時性に対する満足度が低い
 - 柴崎ゾーン：運行ルートに対する満足度が低い
- ・ 自由意見からは、中央線や小田急線など鉄道路線と接続をする南北方向の路線を要望する意見が多い。その他、柴崎駅への路線の接続や仙川駅でのバス停と駅前広場との距離について改善を求める意見があった。

路線バス 満足度(全体)

路線バス 満足度(利用者のみ)



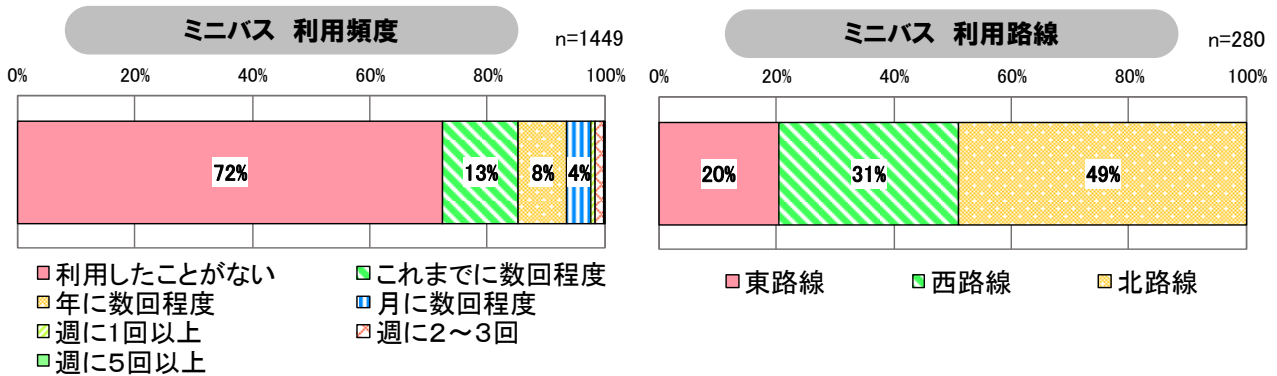
路線バス 重要と思う事項



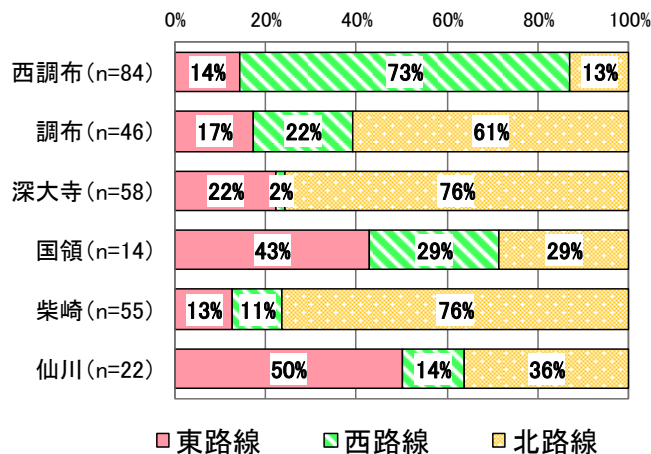
※1位：3点 2位：2点 3位：1点と得点を付加・総得点数に対する割合

【ミニバス】

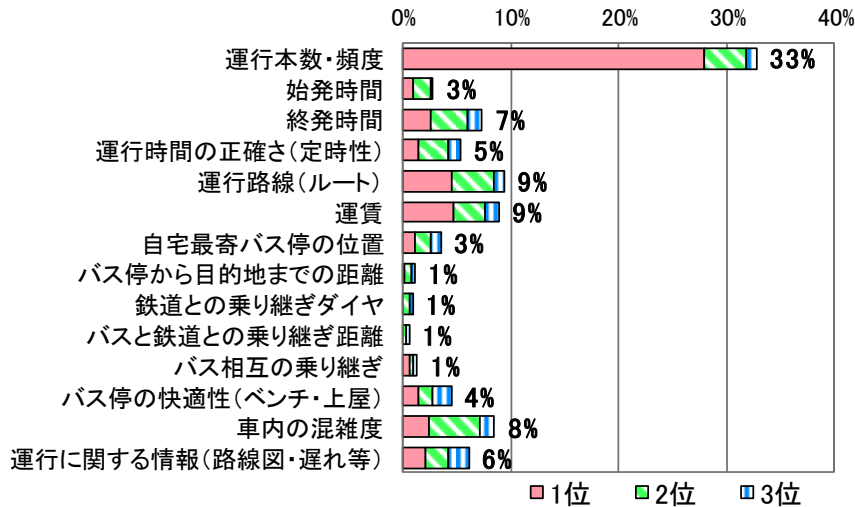
- ・ ミニバスの利用頻度は「利用したことがない」が72%と最も多い。
- ・ 北路線の利用者が多く、北部地域の居住者以外も利用している。
- ・ 運行本数に対する重要度が最も高く他の項目と比較しても特に多い。



ミニバス 利用路線(居住地別)



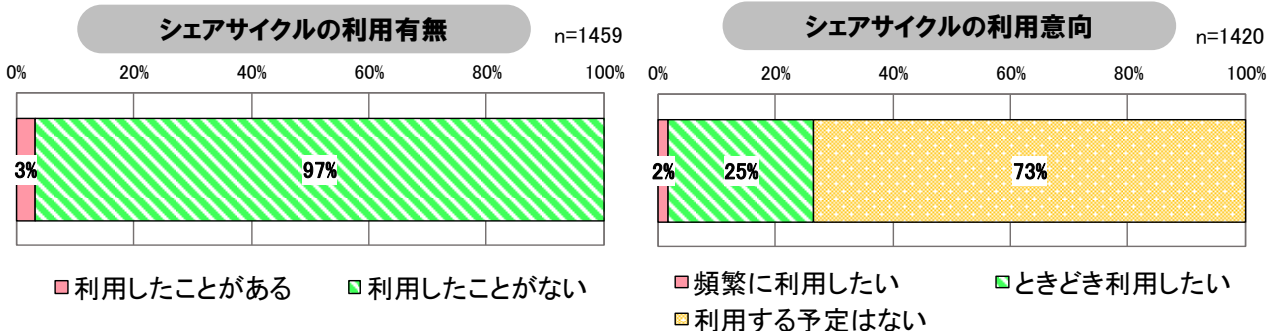
ミニバス 改善してほしい事項



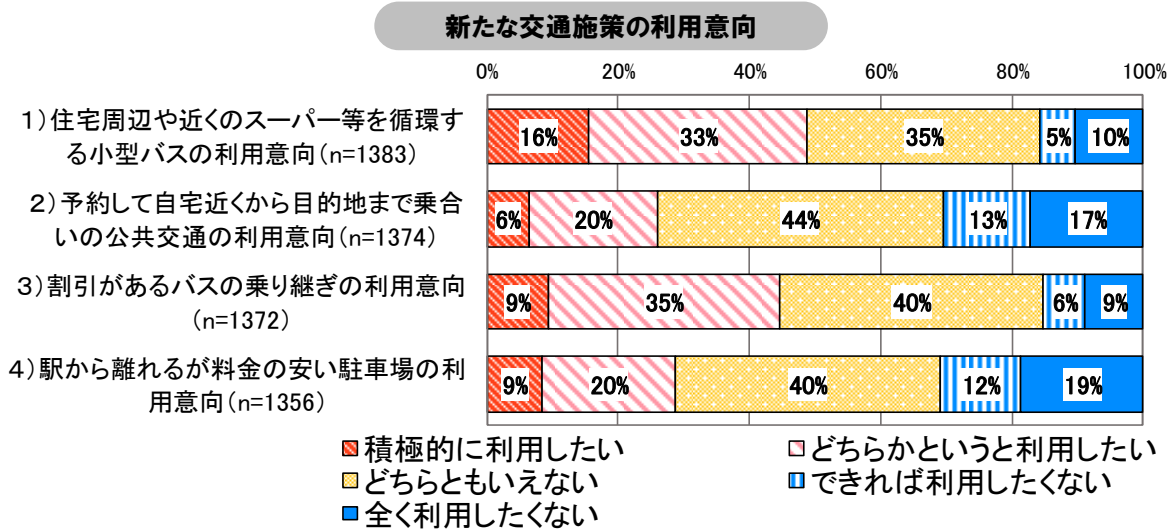
※1位：3点 2位：2点 3位：1点と得点を付加・総得点数に対する割合

④新たな施策について

- ・ シェアサイクルを利用したことがある割合は少なく、利用者の目的は自宅から目的地までの移動が多い。
- ・ 今後の利用意向は、「ときどき利用したい」方を合わせて30%弱である。



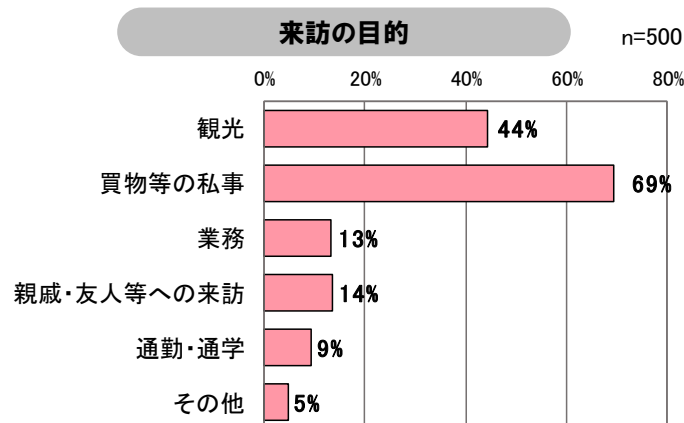
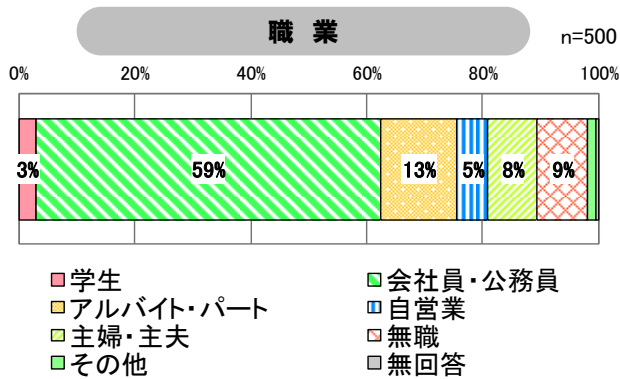
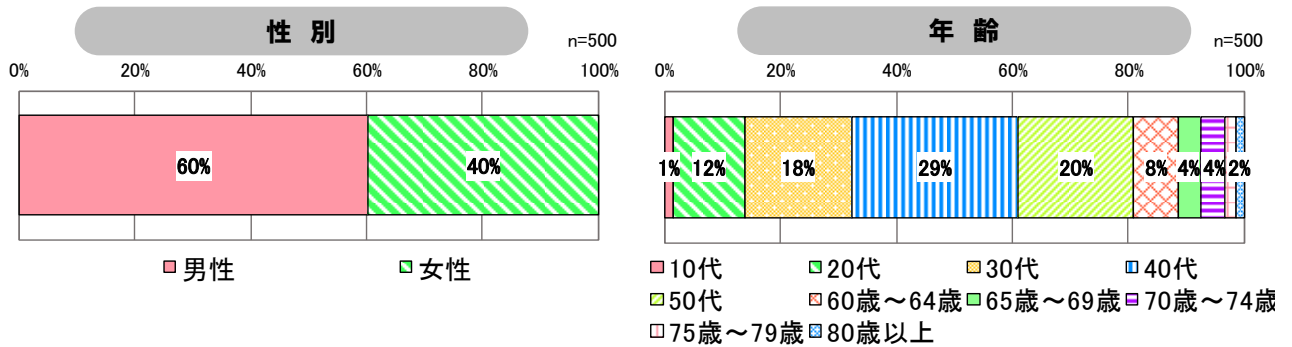
- ・ 新たな施策の利用意向では、「1) 住宅周辺や近くのスーパー等を循環する小型バスの利用意向」、「3) 割引のあるバスの乗り継ぎ利用意向」が高い。
- ・ 地域別にみると、深大寺周辺では「4) 駅から離れるが料金の安い駐車場の利用意向」が他の地域に比べて高い。
- ・ 年齢別にみると、80歳以上では「1) 住宅周辺や近くのスーパー等を循環する小型バスの利用意向」が、若い世代では「4) 駅から離れるが料金の安い駐車場の利用意向」が高い。



3. 来訪者アンケート調査

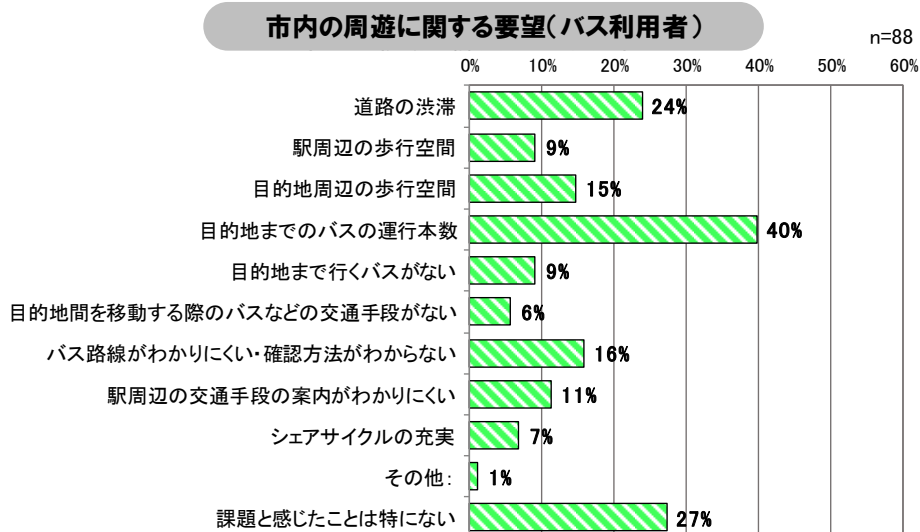
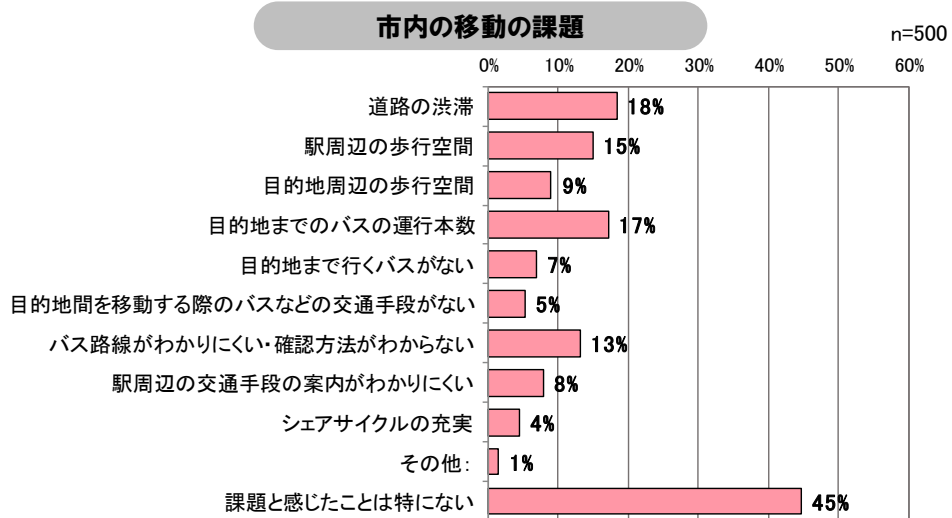
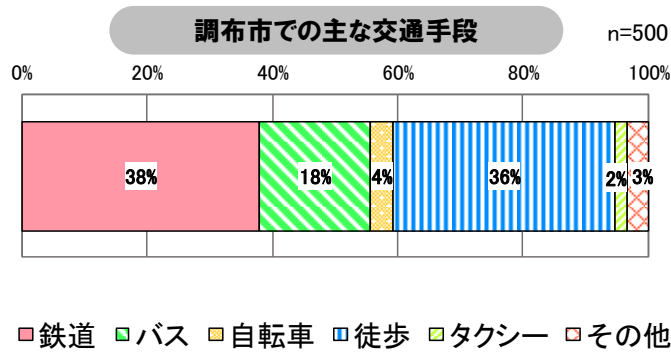
①回答者の属性

- ・ 性別は「男性」60%、「女性」40%、年齢は「40代」が29%と最も多く次いで「50代」が20%であるが、どの年代からも回答をいただいている。
- ・ 職業は「会社員」の割合が高いが、その他の職業も5%~10%程度の回答がある。
- ・ 来訪の目的は「買い物等の私事」が69%と最も多い。



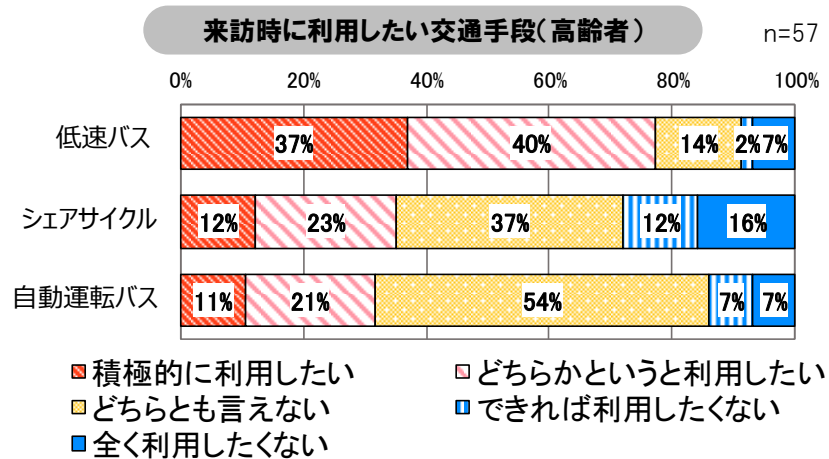
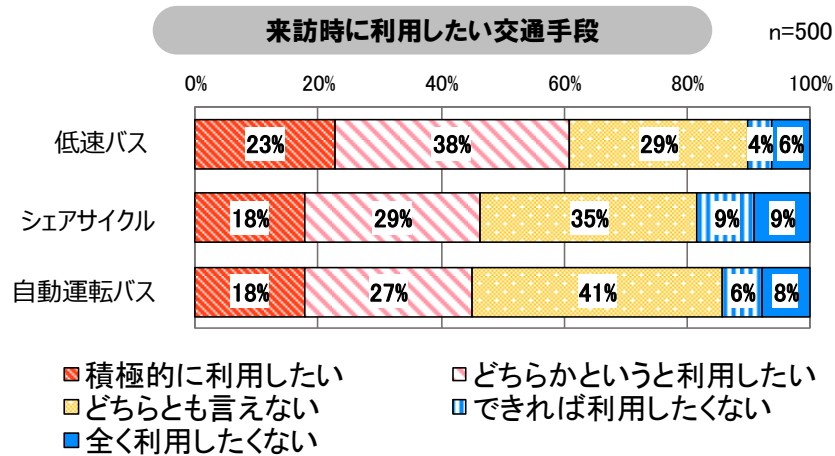
②調布市内での移動の課題

- ・ 調布市までの交通手段は鉄道が多く，市内での移動手段は鉄道を除くと「徒歩」，「バス」の順である。
- ・ 回答者全体では，移動時に「課題と感じたことは特にない」と回答した割合が半数程度を占め，「道路の渋滞」や「目的地までのバス運行本数」に対して 20%弱が課題としている。
- ・ 市内をバスで移動した方に限定してみると，「目的地までのバスの運行本数」との回答が 40%，「道路の渋滞」と回答した割合が 24%と高い。



③新たな交通手段の利用意向

- ・ シェアサイクル，自動運転バスに比べて低速バスを利用したい意向が高く，特に高齢者ではその割合が増加し，8割近くが利用したいとしている。



4. 特定世代アンケート調査

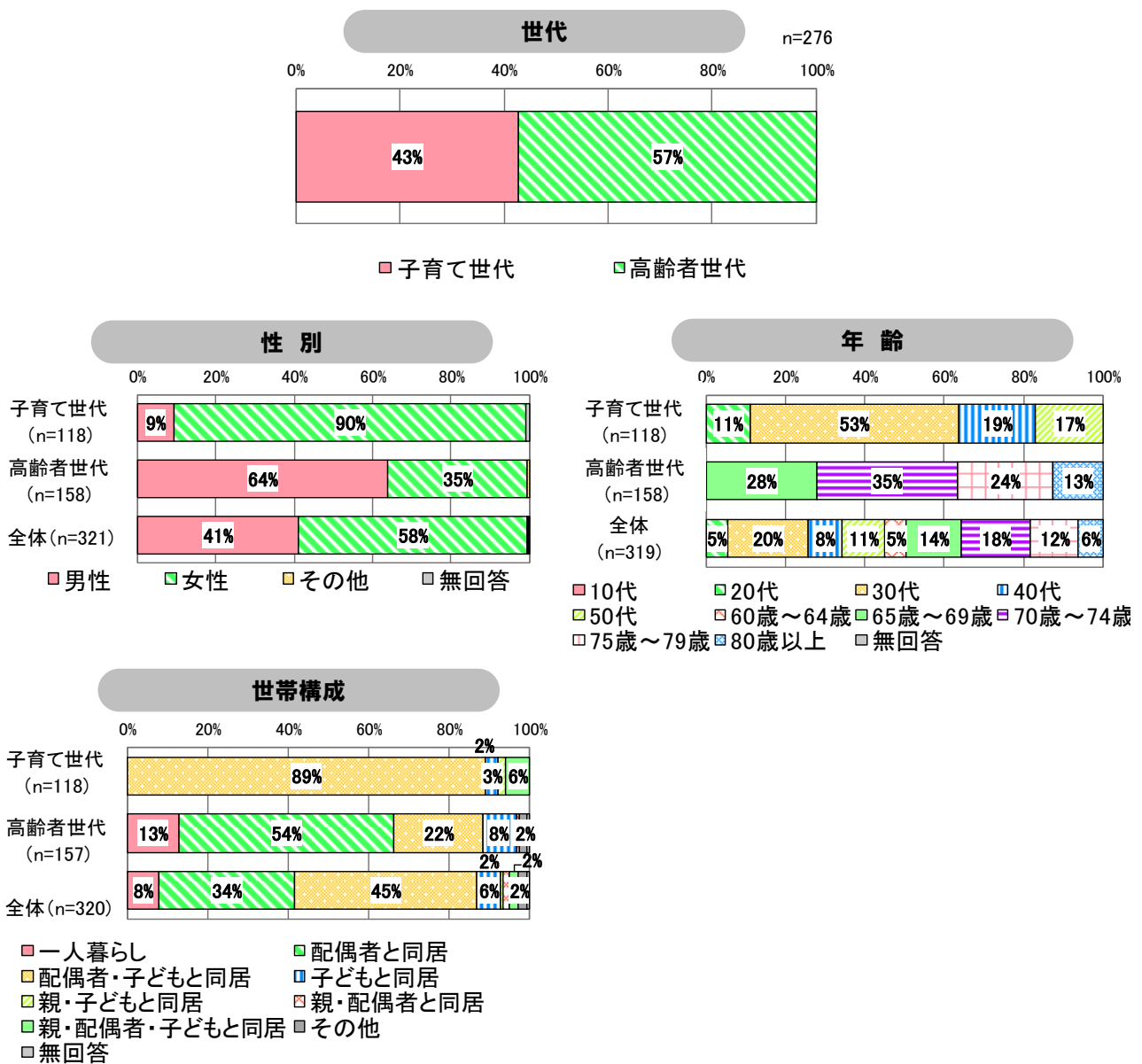
- 子育て世代，高齢者世代を以下のとおり区分して集計した。なお，該当しない方の回答結果は全体にのみ含まれている。

子育て世代：40代以下及び50代にて子どもと同居している方（回答数 118 票）

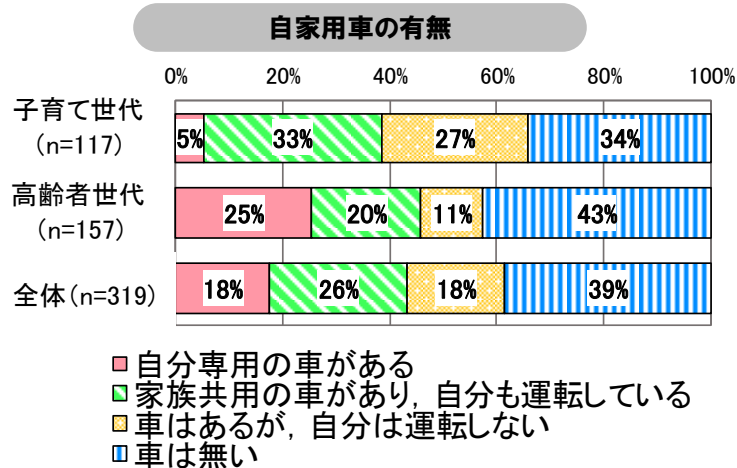
高齢者世代：65歳以上（回答数 158 票）

①回答者の属性

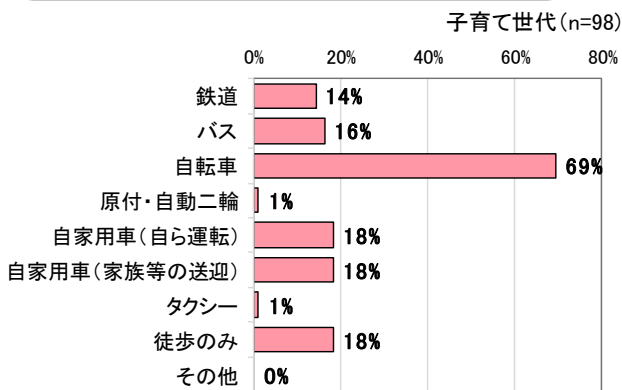
- 子育て世代，高齢者世代の回答者数はそれぞれ43%，57%であった。
性別は子育て世代は女性が90%を占め，高齢者世代は男性が64%である。
- 子育て世代では「30代」が多く半数以上を占めている。高齢者世代では各年齢から回答を得ている。
- 世帯構成は，子育て世代では「配偶者・子どもと同居」が89%，高齢者世代では「配偶者と同居」が最も多く半数以上を占める。



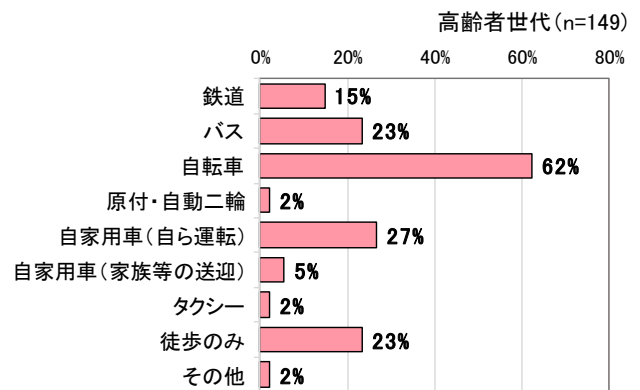
- ・ 自家用車の有無は、子育て世代では「車は無い」割合が高く、保有していても「家族共用の車」の割合が高い。一方で、高齢者世代でも「車は無い」が43%と最も多いが、子育て世代に比べて「自分専用の車」を保有している割合が高い。
- ・ 買い物や移動の主な交通手段で最も多いものは、子育て世代と高齢者世代ともに「自転車」が約60%である。その他手段をみると、子育て世代では「自家用車（家族等の送迎）」が高齢者世代に比べて多く、他方、高齢者世代では「自家用車（自ら運転）」の割合が多い。



買い物や移動の主な交通手段(子育て世代)

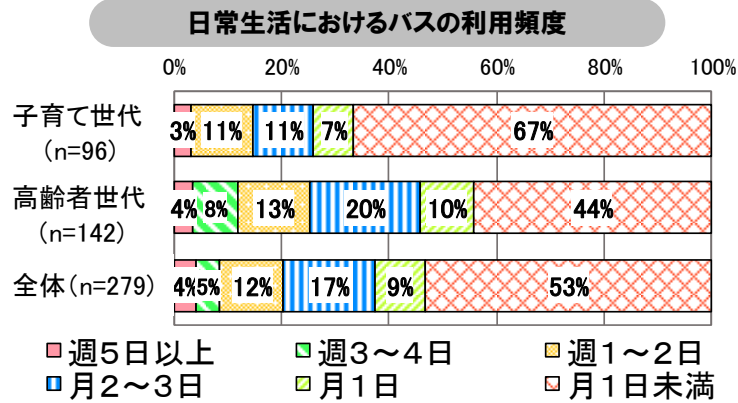


買い物や移動の主な交通手段(高齢者世代)

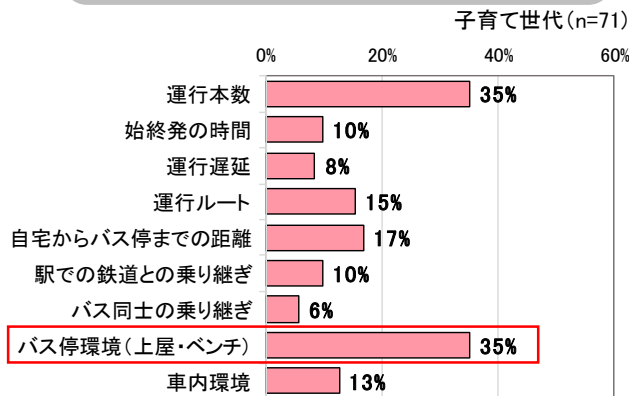


②公共交通に関する状況

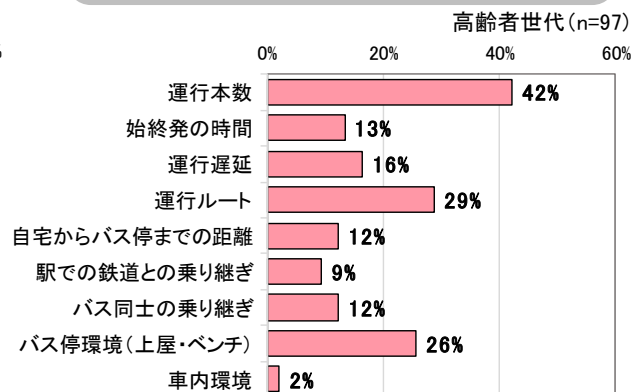
- ・ バスの利用状況をみると、市民アンケートの結果と比較して全体での利用割合が低く、特に子育て世代の回答者ではその傾向が大きい。
- ・ 公共交通環境に関する意見をみると、子育て世代、高齢者世代ともに、市民アンケートと比較してバス停環境（上屋・ベンチ）への要望割合が高い傾向にある。



【公共交通】改善が必要な事項(子育て世代)

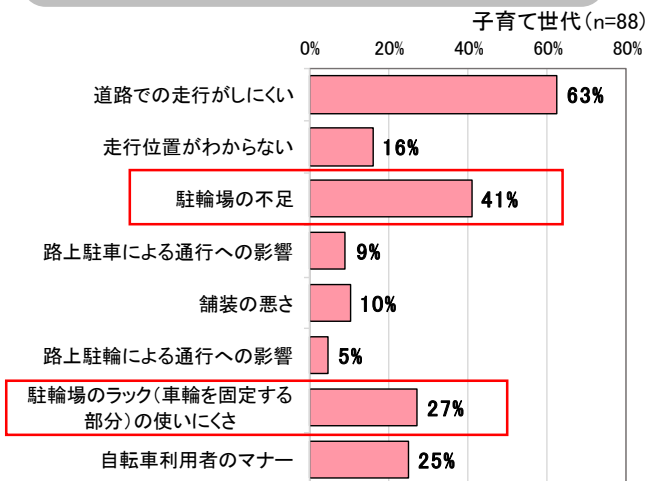


【公共交通】改善が必要な事項(高齢者世代)

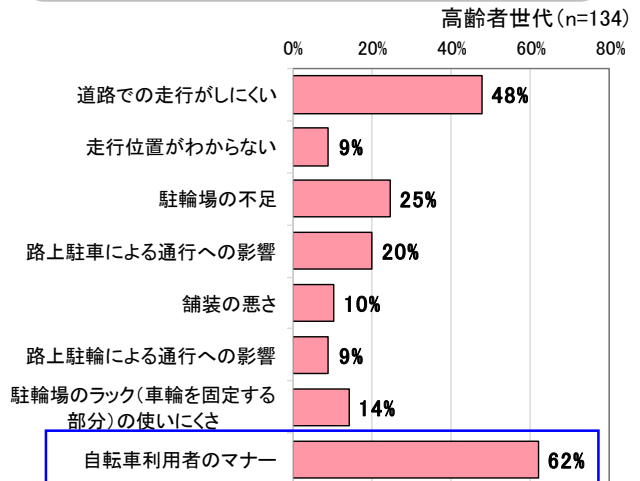


- ・ 自転車環境で改善が必要と考える事項は、子育て世代と高齢者世代ともに「道路での走行がしにくい」の回答が多い。
- ・ 「自転車利用者のマナー」と回答した方は子育て世代では 25%であるが、高齢者世代では 62%と差がみられる。
- ・ 子育て世代では高齢者世代や市民アンケートでの回答に比べて駐輪場の不足や駐輪場ラックの使いにくさに対する改善要望が高い。

【自転車環境】改善が必要な事項(子育て世代)

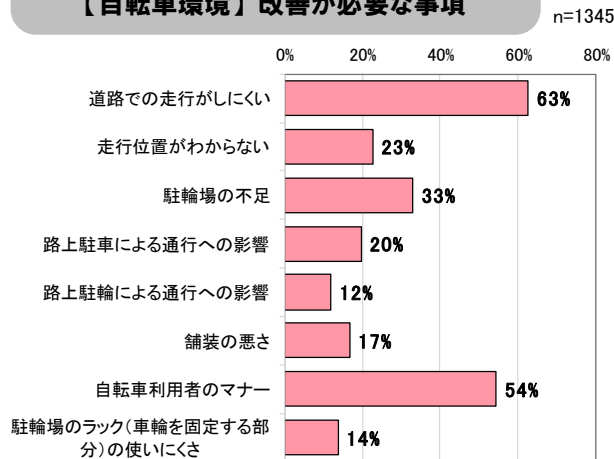


【自転車環境】改善が必要な事項(高齢者世代)



参考:市民アンケート

【自転車環境】改善が必要な事項

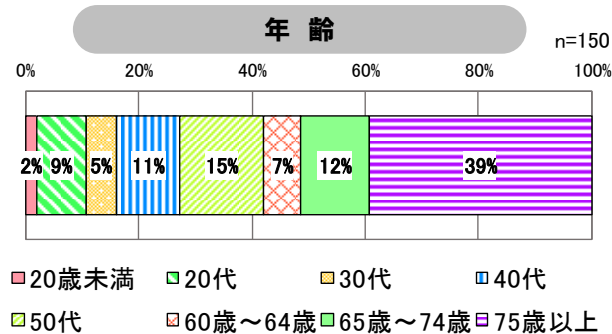
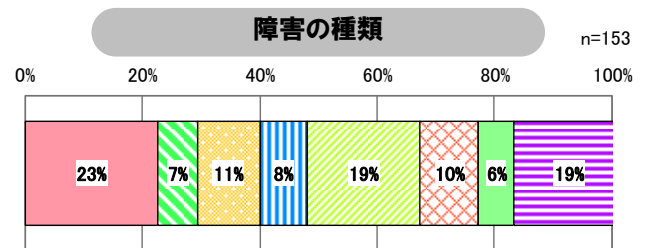
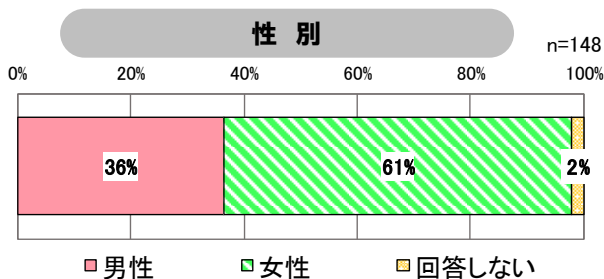


5. 障害者アンケート調査

「調布市バリアフリー基本構想策定に係る調査業務」で実施したアンケート調査結果から障害者の意見を整理し把握した。

①回答者の属性

- 性別は「男性」36%、「女性」61%、年齢は「75歳以上」が39%と最も多く、次いで「50代」が15%であるが、どの年代からも回答をいただいている。
- 障害の種類は「肢体不自由」が23%と最も多く、次いで、「知的障害」「認知症・軽度認知障害・高次脳機能障害」が19%であった。



- 肢体不自由(上肢, 下肢, 体幹, 又はその支援者)
- 視覚障害(全盲, 弱視)
- 聴覚障害(全聾, 難聴)・言語障害
- 内臓機能障害・難病・虚弱等
- 知的障害(又はその支援者)
- 精神障害(又はその支援者)
- 発達障害(又はその支援者)
- 認知症・軽度認知障害・高次脳機能障害(又はその支援者)

②各項目での意見

- 以下のとおり意見をいただいている。

項目	御意見
バス交通について	<ul style="list-style-type: none"> 直通運行の要望。(つつじヶ丘駅～吉祥寺) バス停の段差やガードレールの位置の見直し。スロープ位置の明示。 点字ブロックの不足。(調布駅) コミュニティバスは車両が小さく着席や移動が不便。 コミュニティバスは振動が大きい。
タクシーについて	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー対応車両の増加。 駅からタクシー乗り場までの距離が長い。 運賃の割引。
駅前広場について	<ul style="list-style-type: none"> 調布駅では歩行距離が長く歩きにくい。 自転車が走行しており歩きにくい。自転車の走行を禁止や区分してもらいたい。 木陰等が少ない。
歩行環境について	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の狭さや傾斜に対する意見。 無電柱化による歩道環境の改善。 点字ブロック等の不足。 舗装の波うちがあり移動しにくい。
交差点等について	<ul style="list-style-type: none"> 一部の信号において青点灯時間が短い。